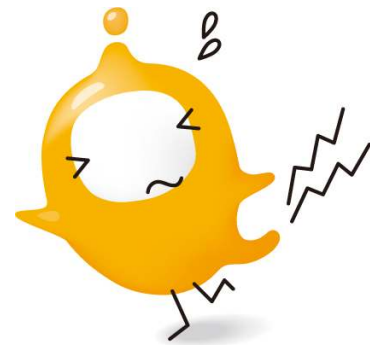


## 9 月 1 日は防災の日！！ 震災以降、生命保険や火災保険、地震保険の 内容チェックされるお客様が増えています。

来店型保険ショップ『保険クリニック』（全国 161 店舗 2013 年 8 月 1 日現在）を展開し、総合保険コンサルティングサービスを行う株式会社アイリックコーポレーション（本社：東京都文京区 代表取締役：勝本竜二（<http://www.irrc.co.jp/>））は、『保険クリニック』サイト上（<http://www.hoken-clinic.com/>）において、第 4 回目となる連載マネー特集「9 月 1 日は防災の日！！」を掲載しましたのでお知らせ致します。

2011 年に起きた、東日本大震災から間もなく 2 年半が経とうとしています。東日本大震災の影響で震災以降、ご自身が加入している生命保険や火災保険、地震保険の内容チェックをされるお客様が増えています。

- 地震でケガをした時は保障されるの？
- 行方不明の場合は？
- 地震でテレビや家具が壊れた時は？
- 津波で家が流された場合は？など・・・



加入はしているものの、どんな時に補償されるのか？  
意外と知らないまま加入されている方が多いのが現状です。

- ① 火災保険だけでは、地震、地震による津波の損害は補償の対象とならないことをご存じですか？
- ② 地震を原因とする家屋の損壊・埋没・流失の損害についても補償の対象とならないことをご存知ですか？
- ③ 火災保険に入っている、地震を原因とする火災の場合、火災保険の補償の対象にならないことをご存知ですか？

地震保険は、自動車保険や傷害保険などと異なり単独で加入することは出来ません。  
火災保険とセットで地震保険を契約することになっています。  
火災保険だけ加入している方も後から地震保険を付けることができるので、『保険クリニック』にお問い合わせください。

**IRC**

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社アイリックコーポレーション 広報宣伝部 穂山 (アキマ)  
TEL 03-5840-9561 E-mail [branding@irrc.co.jp](mailto:branding@irrc.co.jp)

ただし、地震保険に加入しているからといって、地震による車の損害は補償されないので要注意です。生命保険、火災保険、自動車保険など保険のことなら『保険クリニック』にお問い合わせください。

2014 年上期に地震保険料が平均 15%程度値上げされる見込みとのニュースが報道されました。それまでには 1 度、ご加入している火災保険や地震保険をチェックしてみましょう。

- 地震保険料は建物の構造、所在地によって計算されます。
- 木造、鉄筋コンクリートなどによって保険料が異なります。
- それ以外にも 4 種類の割引制度があり、構造によって変わっていきます。

**現在の地震保険の保険料 保険金 1,000 万円（保険期間 1 年の場合）**

都道府県	非木造	木造	都道府県	非木造	木造	都道府県	非木造	木造
岩手県	5,000	10,000	東京都	16,900	31,300	大阪府	10,500	18,800
宮城県	6,500	12,700	静岡県	16,900	31,300	兵庫県	6,500	12,700
福島県	5,000	10,000	愛知県	16,900	30,600	福岡県	5,000	10,000

保険期間は短期 1 年および長期(2 年～5 年)です。

地震保険は国と民間の損害保険会社が補償を分担する公的な保険のため、原則としてどこの損害保険会社で加入しても補償内容、保険料等は同じとなっています。

ただし、基本補償以外の特約を付けた場合は異なります。

詳しくは『保険クリニック』へお問い合わせください。

**【株式会社アイリックコーポレーション・『保険クリニック』について】**



- 本社所在地 〒113-0033 東京都文京区本郷二丁目27番20号本郷センタービル4・5階
- 資本金 4億4千450万円
- 設立 平成7年7月(1995年7月)
- 代表者 代表取締役CEO 勝本 竜二
- 店舗数 全国161店舗(2013年8月1日現在)
- 取扱保険会社数 生命保険23社、損害保険14社、小額短期保険1社 合計38社
- 主な事業 生命保険コンサルタント業、損害保険代理店業、FC店舗展開事業並びにそれに付帯する各種事業、保険販売支援に関するソリューション事業
- URL <http://www.hoken-clinic.com>



**【本件に関するお問い合わせ】**

株式会社アイリックコーポレーション 広報宣伝部 穂山(アキヤマ)  
 TEL 03-5840-9561 E-mail [branding@irrc.co.jp](mailto:branding@irrc.co.jp)

## 地震に関する保険の話

東日本大震災が発生してから2年が過ぎました。今も東日本を中心に余震が続き、東北、北関東では震度5強の大きな地震がたびたび発生しています。また、今後30年以内に震度6弱以上の大きな地震が発生する確率は、千葉75.7%、横浜71.0%(政府調べ)と高く、ますます地震に対する備えが重要になってくると思われます。そこで今回は、改めて地震保険の「中身」についてお話ししたいと思います。地震保険は「地震・噴火・津波による火災・損壊・埋没・流失」の損害を補償します。



例えば、

- 地震により火災が発生し家が焼失した。
- 地震により家が倒壊した。
- 津波により家が流された。 などです。

地震で火事になっても火災保険に入っているから大丈夫!と誤っている方は要注意です。地震による火災は火災保険では補償されません。

被害に合われた場合、一定の損害状況を「全損・半損・一部損」の3つに分け、それぞれ契約金額の「100%・50%・5%」の保険金が支払われます。なお、地震保険は火災保険で一般的な【新価(同等の物を新たに建築、購入できる金額)】ではなく【時価(新価から使用による消耗分を引いた額)】を基準にしています。

地震保険	損害の状況		支払われる保険金
	建物	家財	
全 損	基礎・柱・壁・屋根などの損害額が時価の50%以上 焼失・流失した部分の床面積が延床面積の70%以上	家財時価の80%以上	契約金額の100%(時価限度)
半 損	基礎・柱・壁・屋根などの損害額が時価の20%~50%未満 焼失・流失した部分の床面積が延床面積の20%~70%未満	家財時価の30%~80%未満	契約金額の50%(時価の50%限度)
一 部 損	基礎・柱・壁・屋根などの損害額が時価の3%~20%未満 全損・半損に至らない建物が床上浸水または地盤面から45cmを超える浸水	家財時価の10%~30%未満	契約金額の5%(時価の5%限度)

ところで、以下の表は火災保険に地震保険が付帯されている契約がどのくらいあるかを調べたものですが、東北地方を中心に高い伸びを示しており、いまでは全国的にも半数以上の方が地震保険に加入している状況です。

都道府県別付地震保険付帯率の推移(%)						
	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	対前年増加率
北海道	41.9	42.9	43.8	44.9	48.1	3.2
青 森	39.2	42.6	46.1	48.5	55.0	6.5
岩 手	36.9	38.8	42.2	44.6	56.7	12.1
宮 城	61.5	62.9	66.9	68.7	81.1	12.4
秋 田	41.1	44.2	47.8	51.4	59.8	8.4
山 形	32.6	37.2	39.9	43.2	52.1	8.9
福 島	35.8	37.1	39.0	40.1	58.1	18.0
契 割	38.6	40.6	41.5	41.6	52.5	10.9
栃 木	35.9	37.9	39.0	40.2	50.4	10.2
群 馬	29.1	31.4	32.7	35.0	43.7	8.7
埼 玉	42.5	42.4	43.5	45.3	51.2	5.9
千 葉	43.4	43.2	43.9	45.0	50.5	5.5
東 京	42.7	43.4	44.3	45.5	50.7	5.2
神 奈 川	46.8	45.6	46.6	48.3	53.0	4.7
山 梨	50.1	50.9	51.5	52.5	58.5	6.0
長 野	27.5	30.7	33.9	35.8	44.3	8.5
静 岡	49.8	49.6	51.5	51.6	57.4	5.8
愛 知	62.6	63.3	64.2	64.6	68.3	3.7
全国合計	44.0	45.0	46.5	48.1	53.7	5.6

地震災害時には、住宅の建て替えや住宅ローン問題など、お金に係わる様々な難題が降りかかってきます。家具が倒れないように留め具をつける、避難場所を確認する、家族との連絡手段を決めておく、などと同じように、必要資金への備えも重要です。2014年には地震保険料が値上げされるとの報道もあるので、一度確認してみたいかでしょうか。



【本件に関するお問い合わせ】

株式会社アイリックコーポレーション 広報宣伝部 穂山(アキマ)

TEL 03-5840-9561 E-mail [branding@irrc.co.jp](mailto:branding@irrc.co.jp)